

基本目標1 介護予防と生活支援対策の推進

町民にとって、いつまでも健康でいきいきとした生活を送ることが大切です。そのために、積極的に健康づくりや介護予防の取り組みを進めます。

また、要介護状態になっても、有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう自立支援・重度化防止に取り組みます。併せて、高齢者の生活支援ニーズを把握して対策を講じ、安心して暮らせる環境整備を推進します。

1 自立支援、介護予防・重度化防止の推進

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果から、転倒リスクは横ばいですが、運動器のリスクは微増しています。コロナ禍で休止していた「こむぎっちょくら健康体操」を再開し、活動が継続していくよう支援します。

また、重度化の割合を8期時点（R元→R2）と比較するとやや増加傾向であり、重度化する原因となる病気の発症や再発防止、生活不活発病に陥ることを防ぐ重度化防止の取組を進めます。

KPI	こむぎっちょくら健康体操参加者数(人) (担当課:高齢者いきいき課)								
	R6			R7			R8		
項目	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
	432	554	128.2%	440			450		

(成果及び課題)

コロナ禍で中止していた地区が1か所の再開ができ全地区再開に至る。

ちょくら健康体操を継続や新たな参加者の取り込みを目的として、理学療法士と町とで継続支援を行い、参加者の体力測定や介護予防などに関する講話を実施。参加者の介護予防に対する取り組みやちょくら健康体操の参加や継続に対する意識向上を図った。また、広報や回覧板を活用しづくら健康体操を広く周知することで、新たな参加者の取り込みにつなげた。

評価	A.計画通り	今後の方向	継続・維持
----	--------	-------	-------

KPI	こむぎっちょくら健康体操活動地区数（担当課：高齢者いきいき課）								
	R6			R7			R8		
項目	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
	30	29	96.7%	30			30		

(成果及び課題)

新たな体操の立ち上げはなかったが、コロナ禍で活動を中止していた地区へ再開支援を行い、町内29か所でちょくら健康体操での実施することができた。

評価	B.概ね計画通り	今後の方向	継続・維持
----	----------	-------	-------

KPI	重度化防止の支援件数（担当課：高齢者いきいき課）								
	R6			R7			R8		
項目	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
	1	2	200.0%	2			2		

(成果及び課題)

介護が必要となっても高齢者本人の望む生活が実現できるよう、多職種で構成された専門職チームによる支援を実施し、介護支援専門員や介護保険事業所のケアマネジメント力の向上につなげた。

評価	A.計画通り	今後の方向	継続・維持
----	--------	-------	-------

基本目標1 介護予防と生活支援対策の推進

町民にとって、いつまでも健康でいきいきとした生活を送ることが大切です。そのために、積極的に健康づくりや介護予防の取り組みを進めます。

また、要介護状態になっても、有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう自立支援・重度化防止に取り組みます。併せて、高齢者の生活支援ニーズを把握して対策を講じ、安心して暮らせる環境整備を推進します。

2 生活支援対策の推進

アンケートにより「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が最も多いこと、今後「一人暮らし」の割合が増加することが見込まれることから、今後の家族構成や生活状況の変化によって、生活支援のニーズが高まるため、生活支援対策を推進します。

KPI	地域支え合い活動の活動地区（担当課：高齢者いきいき課）								
	R6			R7			R8		
項目	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
	2	2	100.0%	2			3		

（成果及び課題）

令和6年4月に神保原小地区で町内2地区目となる地域支え合い活動がある「支え愛とおせっか会」が発足し、活動を開始。今後は社会福祉協議会とともに活動の継続的支援および3地区目の立ち上げ支援を行っていく。

評価	A.計画通り	今後の方向	継続・維持
----	--------	-------	-------

基本目標2 社会参加と生きがいづくりの推進

高齢者が心身共にできる限り健康を維持していくためには、生きがいを持つことや、地域活動・地域交流等の場に参加することが重要であるため、交流する場の創出、高齢者の有する経験や知識を活用できるような場所や機会の提供、就労機会の創設、ボランティア活動の推進等の社会参加の促進や生涯学習の推進を図ります。

1 社会参加と生きがいづくりの推進

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果から、交流の場への参加の減少や交流意欲の低下が確認されています。

社会的な交流をすることで活気や気力がわき、いきいきと生活することが、閉じこもりやうつの予防にもつながることから、高齢者が社会活動へ参加する意欲がわくような支援を行います。

KPI	シルバー人材センター会員数（担当課：高齢者いきいき課）								
	R6			R7			R8		
項目	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
	240	260	108.3%	242			245		

(成果及び課題)

シルバー人材センターが安定的に運営できるように補助金を交付し、町広報に隔月で「お仕事説明会」の記事を掲載し、高齢者の生きがいづくりの場としてPRを行った。引き続き、高齢者の生きがいの確立と地域社会の活力向上及び更なる会員数の増加を目標に広報等の強化を行い、併せて社会の変化に対応できるように財務状況を考慮しつつ継続的運営の支援を行っていく。

評価	A.計画通り	今後の方向	継続・維持
----	--------	-------	-------

KPI	老人クラブ会員数（担当課：高齢者いきいき課）								
	R6			R7			R8		
項目	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
	1,300	1,236	95.1%	1,300			1,300		

(成果及び課題)

老人クラブ会員数は減少傾向にあり、減らさないことを目標としたが、令和6年度は1単位クラブが活動を終了し、人数も目標値より少なくなってしまった。

令和6年度は交通安全カラオケ大会を新型コロナウイルス感染拡大前と同じく一日開催とし、その他の活動においても落語会を開催するなど積極的な活動を行った。より事業が活性化されるよう事業内容を更に魅力的なものにしていくよう努めていく。

また、令和7年度より町からの補助金をもらわず、グラウンド・ゴルフの活動をする新たな単位クラブが活動予定であり、現在休止中の単位クラブについても、再開へむけて支援をしていく。

評価	E.未達成	今後の方向	継続・維持
----	-------	-------	-------

基本目標3 地域包括ケアシステムの深化・推進

寝たきりや認知症等により介護が必要な状態になってもできる限り住み慣れた地域社会で暮らし続けることが可能となるように、第5期計画より地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んできました。

システムの構築を実現し、医療・介護・予防・生活支援・住まいが一体的に提供されるよう、事業を着実に遂行していくことにより地域包括ケアシステムの更なる深化・推進を図ります。

1 住み慣れた地域で暮らし続ける体制づくりの推進

町は令和5年に後期高齢者数が前期高齢者数を上回り、認知症等病気を抱える方や日常生活上の支援を要する方の増加が見込まれます。そのため、認知症対策の推進、医療と介護の連携等により、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう体制づくりを推進します。また、地域包括支援センターは地域包括ケアシステムの深化・推進を図るための中核機関となります。高齢化の進行に伴う相談件数の増加や困難事例に対応できるよう、適切な人員体制を整えるよう努めるとともに、地域のネットワークを活用して地域住民や家族を含めた多職種連携により、継続的な見守りと必要に応じた支援を行います。

KPI	認知症サポーター養成講座実施数（担当課：高齢者いきいき課）								
	R6			R7			R8		
項目	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
	9	9	100.0%	10			9		

(成果及び課題)

認知症の早期教育・認知症の方にも住みよい地域づくりを実現するため、町内全ての小中学校と、看護専門学校、一般町民向けに講座を実施することができた。また、講師であるキャラバン・メイトの方々と定期的な連絡をとって、講座にご協力いただくことができた。一般町民向けの講座への参加者は増加傾向にあり、地域住民の認知症への関心が高まっていると言える。今後も学校や町民向けに講座を実施していく。講座の講師はキャラバン・メイト（ボランティア）が担っている。講師の方々の多くは仕事をしながら活動されており、忙しさを理由に活動ができなくなる方も増えてきている。今後、キャラバン・メイトとして活動できる方を増やしていくことが課題。

評価	A.計画通り	今後の方向	継続・維持
----	--------	-------	-------

KPI	医療・介護関係者の研修実施数（担当課：高齢者いきいき課）								
	R6			R7			R8		
項目	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
	1	1	100.0%	1			1		

(成果及び課題)

「医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる」を目指し、在宅医療・介護連携推進事業を、1市3町、本庄市児玉郡医師会、在宅医療連携拠点と連携し実施している。

医療と介護関係者へ向けて「在宅を支える医療・介護連携研修会」として意思決定支援に関する研修会を実施した。研修では意見交換を行い、多職種間で顔の見える関係づくりと連携の強化につなげることができた。

評価	A.計画通り	今後の方向	継続・維持
----	--------	-------	-------

KPI	高齢者見守り協力事業者数（担当課：高齢者いきいき課）								
	R6			R7			R8		
項目	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
	31	33	106.5%	33			35		

(成果及び課題)

ホームページに見守り協定について掲載することにより、上里町と協定の締結を希望する事業者から連絡がきて、協定締結に繋がった。新規に協定を締結した事業者数は2件。例年通り見守りネットワーク会議を開催し、関係機関と情報共有することができた。

今後も見守り協力事業者へ、高齢者の見守りのご協力をお願いするとともに、会議等での顔の見える関係性づくりや情報共有を図っていく。

評価	A.計画通り	今後の方向	継続・維持
----	--------	-------	-------

基本目標4 高齢者とその家族を支える介護体制づくり

介護を必要とする方及び、介護をしている方への支援の両方の視点を踏まえ、在宅での生活支援、認知症施策の推進、在宅医療・介護連携の推進、介護者の負担軽減や安心して暮らせる高齢者の住まいの確保等、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられる介護体制づくりを目指します。介護者支援としては、介護離職を防止する観点から、必要な介護サービスの確保を図るとともに、働きながら介護に取り組む家族への相談・支援を行い、「介護離職ゼロ」の実現に向けた取り組みも行います。

1 介護サービスの充実

高齢者数の増加に伴い、要支援・要介護認定者数も伸び、介護サービスのさらなる需要が見込まれます。高齢者が自ら望む生活を続けることができるようになるとともに、介護離職やヤングケアラーといった問題にも対応し、適切なサービスの提供や、必要とされるサービス量の確保に努めます。また、不足が見込まれる介護人材については、基礎知識を身に着ける講座や各事業所とのマッチングを行います。さらに介護サービスが適切に提供されるよう適正化事業に取り組みます。

KPI	入門的研修実施数（担当課：高齢者いきいき課）								
	R6			R7			R8		
項目	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
	1	1	100.0%	1			1		

(成果及び課題)

令和6年10・11月に4日間介護に関する入門的研修を実施し、介護分野への参入のきっかけを作れた。

また、最終日の研修終了後に町内4法人によるおしごと相談会を実施し、介護施設等への就労に向けた支援を行った。研修には、15名定員中、5名の受講し、2名が就労につながった。

研修の参加申込者が少ないため、開催時期や日程について検討し、参加者が増えるように検討を行う。

評価	A.計画通り	今後の方向	継続・維持
----	--------	-------	-------

KPI	適正化事業実施（担当課：高齢者いきいき課）								
	R6			R7			R8		
項目	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
	1	1	100.0%	1			1		
(成果及び課題)									
国の示す「第6期介護給付費適正化計画に関する指針」に基づき給付適正化3事業の点検を行った。									
①「要介護認定の適正化」については、埼玉県等が主催する研修により、認定調査の実施に必要な知識・技能の習得及び向上に努めつつ、全ての調査票の点検を実施を行った。									
②「ケアプラン点検、住宅改修等の点検、福祉用具購入・貸与調査」については、介護度による給付率の状態等で気になる事例を事前に抽出し、ケアマネジャーに内容を確認したり、介護予防のケアプランについて評価及び指導を実施した結果、適切な案件であったことが確認した。									
③「医療情報との突合・縦覧点検」については、毎月埼玉県国民健康保険団体連合会により作成される医療情報との突合帳票、縦覧点検帳票を活用し、請求内容の点検を行った。									
今後も、介護給付等費適正化事業のため継続実施を行う。									
評価	A.計画通り			今後の方向			継続・維持		